

タンゴ音楽の集い 開催

宍戸 和郎

少し肌寒くも感じられる梅雨の曇天の下、去る 6 月 24 日火曜日に第 47 回「タンゴ音楽の集い」に参集しました。会場はいつもの「銀座ブロッサム ローズの間」です。今年は日本にタンゴが伝来して 100 年目に当たるということで※、3 回連続で「日本のタンゴ 100 周年」にちなんで」と題する連続講演が企画されました。今回はその第 1 回目です。



いつもの飯塚理事の軽妙な解説で、日本におけるタンゴの伝来やその盛衰が音響と映像で多角的に紹介されていきました。その中でも、日本のタンゴ人気を大きく飛躍させたのは、やはり 1954 年のフアン・カナロ (Juan Canaro) 楽団の来日ということになるそうです。また、特に今回は著名なタンゴ歌手マリア・デ・ラ・フエンテ (María de la Fuente) にもフォーカスが当てられ、晩年になっても衰えないその歌声が披露されました◆。その他、ガブリエル・クラウシ

(Gabriel Clausi) やエリサ・リバス (Elsa Rivas) の 80～90 歳代の時の歌唱に驚嘆し、「バンドネオンの魔術師」フアン・カンバレリ (Juan Cambareri) の超絶技法に引き込まれ、フォーエバータンゴの華麗なダンスに見とれているうちに会はお開きとなりました。



なお、今回は、日本のタンゴ界で活躍中のコントラバス奏者 田中伸司氏とダンサー 桑原和美氏が駆け付けて下さり、それぞれタンゴへの想いを語られました。

本シリーズ第 2 回が楽しみです。



田中伸司氏



桑原和美氏

(次頁以降に当日のプログラムと参考資料を添付)

(ししど かずろう：当協会常務理事)

※ 「今年が 100 周年」との説には異論もある旨、飯塚理事から興味深い解説がありました。

◆ 飯塚理事が彼女を現地で撮影したプライベート映像も披露されました。

＜“日本のタンゴ100周年”にちなんで～第1回＞

飯塚 久夫

スタートはノリノリのダリエンソ・スタイルで (来日用のデモ・ビデオ)

1. ☐カ Loca (M.Jovés) ☐ス・ソリスタス・デ・ダリエンソ (1988)

タンゴの起源と日本のタンゴ略史

- ## 2. 日本のタンゴは「昭和」に結実

この楽団によって日本のタンゴは飛躍した

3. フアン・カナロ来日 (1954 年)

4. ジーラ・ジーラ Yira...Yira... (E.S.Descepolo) エクトル・インスア (1954)

5. いつでも用意を Siempre a punto (H.Baralis) フアン・カナロ (1954)

マリア・デ・ラ・フエンテ María de la Fuente をめぐる物語

6. En Carne Propia (M.Sucher-C.Bahr) 冒瀆 Juramentos (F.Canaro-L.Amadori)
マリア・デ・ラ・フエンテ (1946 y 40)

7. □力 Loca (M.Jov é s-A.Viergol)

- マリア・デ・ラ・フエンテ (1954)

8. アルゼンチン国立タンゴ・アカデミーのマリア・デ・ラ・フエンテ（87 歳）（2005）

9. 放棄 Abandono (P.Maffia)

- ガブリエル・クラウシ（94 歳）（2005）

10. カフェの片隅で En Un Rincón del Café (G.Clausí “Chula”)

- フアン・マグリオ“パチヨ”(1928)

アルゼンチン国立タンゴ・アカデミーと日本タンゴ・アカデミーとのコラボレーション

11. 白髪交じりのミロンガ Milonga que Peina Canas (A.Gomez)

- エルサ・リバス (85歳) (2010)

12. あなたの瞳を見つめるとき Cuando Miran Tus Ojos (J.M.Aguirar-E.Cdiacamo)

- マリア・デ・ラ・フエンテ (92歳) (2010)

プグリエーゼの魅力はこんな所にもある

13. エル・パニェリート El Pañuelito (J.de Dios Filiberto-G.C.Peñaloza)

- オスバルド・プグリエーセ (歌:ホルヘ・マシエル) @Tokio (1965)

“バンドネオンの魔術師”フアン・カンバレリ来日

- (1969)

14. 淡き光に A Media Luz、台風 El Huracan、ラ・クンパルシータ La Cumparsita

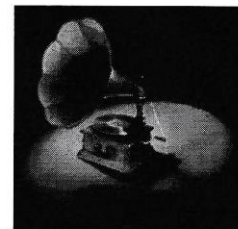
日本のタンゴ・ダンスはこれによって目覚めた

15. テレーチョ・ビエホ Derecho Viejo (E.Arolas)

- フォーエバータンゴ @La Plata (2007)

＜おまけ＞

16. 三つ角 Tres Esquinas (A.D' Agostino-A.Attad í a-E.Cad í camo) A.Ardit



TANGO en JAPON (概括)

- 1920(T10) 目賀田綱美(1896~1969) パリ遊学
1926(S1) 同上 帰国 SPレコード12枚~日本初のタンゴレコード?
1928(S3) 日本初のアルゼンチンタンゴ・レコード発売(亜ビクトルから輸入 OTV)
1930(S5) 日本 タンゴ初演奏
1932(S7) 巴里ムーランルージュ楽員 来日 バンドネオン登場
1934(S9) ダンス・ホール 開設
1934(S9) 日本初のタンゴ録音(モンパルナス・タンゴ・アンサンブル)(テイチク)
桜井潔(1911~1961)レコード・デビュー
1935(S10) サクライ・イ・ス・オルケスタ(赤坂溜池“フロリダ”出演)
1937(S12) 同上 レコード・デビュー(キング)
1943(S43) 同上 出演禁止
1947(S22) 同上 絶頂期(バンドネオン&アレンジ 坂本政一)
1947(S22) 早川真平(1914~1984)“オルケスタ・ティピカ東京”結成
麹町“クラブ・エスカイヤ”出演
1950(S25) 藤沢嵐子(1924~2013)“原孝太郎と東京六重奏団”より移籍
1951(S26) 同上 録音開始(ビクター)
1951(S26) 民間放送誕生 ラジオ東京「ポルテニヤ音楽の時間」
1951(S26) 坂本政一(1909~1995)“オルケスタ・ティピカ・ポルテニヤ”
結成 レギュラー出演
1953(S28) 早川、藤沢、刀根研二 初訪亜(ペロン大統領、伴奏トロイロ=グレラ)
1954(S29) オルケスタ・ティピカ東京 訪亜
(再訪1956、1964(阿保郁夫、柚木秀子)、1981)
1954(S29) ファン・カナロ 来日(マリア・デ・ラ・フエンテ、エクトル・インスア)
1955(S30) 西塔辰之助“オルケスタ・ティピカ・パンパ”結成
1957(S32) 上野タンゴ喫茶“金馬車会館”開店「カフェ・コンサート」の時代
“坂本政一とオルケスタ・ティピカ・ポルテニヤ”常時出演
新宿“ラ・セーヌ”、銀座“コロンビア”、渋谷“プリンス”
日比谷“シャンテ”、新橋“フロリダ”、銀座“白馬車”“新世界”
1959(S34) リカルド・フランシア 来日(チェロ)
1961(S36) フランシスコ・カナロ楽団 来日(エドゥアルド=グローリア)
小澤泰(1955~ピアノ)とオルケスタ・ティピカ・コリエンテス
フェルナンド・テル 来日(~63、バンドネオン)
同上 トリオ(ギター河内敏昭、ベース福島敏夫)
1964(S39) 藤沢嵐子、オルケスタ・ティピカ東京(アルゼンチン、ウルグアイ、チリ、
ペルー、コロンビア、エクアドル、メキシコ 9ヶ月間巡演)
1964(S39) キンテート・レアル 来日
1965(S40) オスパルド・ブグリエーセ楽団 初来日
1965(S40) キンテート・ア・ロ・ピリンチョ 来日

1966(S41) ビートルズ 来日

- 1966(S41) 坂本政一 南米各地、スペイン、北米公演 帰国後解散
1966(S41) フロリンド・サッソーネ楽団 初来日
1967(S42) アルマンド・ボンティエル楽団、キンテート・グローリア 来日
1968(S43) フアン・ダリエンソ楽団 来日
1968(S43) オルケスタ・ティピカ東京 解散
1969(S44) フアン・カンバレリ4重奏団 来日
1970(S45) 民音タンゴ・シリーズ 開始(ホセ・バッソ楽団)
1971(S46) エクトル・パレーラ楽団 来日
1971(S46) グラシエラ・スサーナ 初来日
1971(S46) 藤沢嵐子 引退
1972(S47) フロリンド・サッソーネ楽団 来日
1972(S47) 坂本政一 復活(新宿「ラ・セーヌ」小松勝、真知子)
1973(S48) フランチャーニボンティエル楽団 来日
1974(S49) カルロス・ガルシアとタンゴ・オールスターズ 初来日
1975(S50) フルビオ・サラマンカ楽団 来日
1975(S50) メルセデス・ソーサ 来日
1976(S51) レオポルド・フェデリコ楽団 来日
1976(S51) アタウアルパ・ユパンキ 来日
1977(S52) エンリケ・フランチャーニとシンフォニック・タンゴ・オーケストラ 来日
1978(S53) ホセ・リベルテーラ楽団 来日
1979(S54) オスバルド・ブグリエーセ楽団 来日
1980(S55) カルロス・ガルシアとタンゴ・オールスターズ 来日
1980(S55) 藤沢嵐子 活動再開
1980(S55) サルガン＝デ・リオ グランオルケスタ 来日
1991(S66) 藤沢嵐子 最終公演
1987(S62) 「タンゴ・アルヘンティーノ」来日(1983パリ)
1997(H9) アストル・ピアソラ没後5年ヒット
1999(H11) 「フォーエバー・タンゴ」来日(1990サン・ディエゴ、1994サン・フランシスコ、1997ブロードウェイ)
2003(H15) タンゴ・ダンス世界選手権 開始
2004(H16) タンゴ・ダンスアジア選手権 開始